

音楽と絵画でつづるおうみの民話 vol.1

日本一大きなみずうみ、びわ湖を有する近江は、日本のほぼ中心部に位置し、古くから多くの人が行き来してきました。この土地を通った人たちが美しい湖や、それをとりまく山を題材に詩や歌を詠み、戦乱の世には、この地を舞台に天下の覇権をかけた武将たちの争いが繰り返されました。“近江には一木一草一石にも伝説がある”といわれるほどの詩情豊かな風土のなかで、私たちの祖先が残してくれた数多くの民話の中から、今回は、伊吹山に伝わる巨人伝説「伊吹弥三郎」、長雨による伊吹山の崩壊から村人たちを救った姉妹の竜が主人公の「姉川と妹川」など湖北にまつわる5話を音楽と語り、そして絵画でご紹介します。

本事業では、県内各地で語り継がれてきた「民話」をテーマにホールを巡るコンサートを開催するだけでなく、民話の地域資源として魅力や教育的価値を踏まえてワークショップやライブペインティングを実施することで、地域の歴史や先人の教訓といったその地ならではの特色を掘り下げ、世代をつなぐ出会いと交流の場をつくりたいと願っています。

ワークショップ 〈岩絵具に触れよう〉

日本美術に欠かせない画材、鉱石を砕いてつくられた“岩絵具”を実際に指で溶いて、ザラザラしたりキラキラした質感を楽しみながら、伊吹山に咲く花や植物を伸びやかな線で描いてみましょう。出来上がった作品はライブペインティング作品と一緒に展示します。



日時 8月3日(土)
10:30/13:30(約90分)

会場 伊吹薬草の里文化センター 工芸室

対象 小学生以上(10名×2回)

参加費 500円
(材料代を含む・当日受付にてお支払いください)

申込受付 7月13日(土)~

※お申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切ります。



TICKET チケット料金

7月27日(土) 発売開始

【本公演】

入場料 一般 2,000円
24歳以下 1,000円

【プレコンサート】

入場料 一般 1,000円
24歳以下 500円

※各公演とも全席自由、未就学児入場不可、消費税10%込

プレイガイド

- 伊吹薬草の里文化センター
TEL.0749-58-0105
- びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136(現金・窓口販売のみ)
10:00~19:00/火曜日休館
8/13~18は休館
- びわ湖芸術文化財団オンラインチケット
<https://biwako-arts.or.jp/rd/>
- 滋賀県立文化産業交流会館
TEL.0749-52-5111

アクセス



〒521-0314 滋賀県米原市春照 37番地
・JR「近江長岡駅」からバスで10分 ・北陸自動車道米原ICから車で20分

お問い合わせ

公益財団法人びわ湖芸術文化財団
法人本部 地域創造部

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 15-1 びわ湖ホール内
TEL.077-523-7146 FAX.077-523-7147
<https://biwako-arts.or.jp/rd/>



音楽と絵画でつづる

おうみの民話

Vol.1

イベント 伊吹山と神のささやき

プレコンサート

2024年9月8日(日) 14:00開演(13:30開場) 伊吹薬草の里文化センター・ジョイホール
一般 1,000円、24歳以下 500円(全席自由)※未就学児入場不可

ライブペインティング

9月7日(土) 10:00~12:00/13:30~15:30
9月8日(日) 10:00~11:00/13:00~14:00/15:30~16:30
伊吹薬草の里文化センター ホワイエ

ワークショップ 〈岩絵具に触れよう〉

8月3日(土) 10:30/13:30
伊吹薬草の里文化センター 工芸室
参加費: 500円(材料代を含む)
対象: 小学生以上(10名×2回) 申込: WEBサイト「申込フォーム」より
申込受付: 7月13日(土)~先着順

本公演 伊吹山と神の息吹

2024年10月27日(日) 14:00開演(13:30開場) 伊吹薬草の里文化センター・ジョイホール
一般 2,000円、24歳以下 1,000円(全席自由)※未就学児入場不可

イベント 伊吹山と神のささやき

【ワークショップ】〈岩絵具に触れよう〉

日時 8月3日(土)
10:30/13:30(約90分)
参加費・詳細は裏面へ▶

【ライブペインティング】

日時 9月7日(土)
10:00~12:00/13:30~15:30
9月8日(日)
10:00~11:00(伊吹高校)
13:00~14:00/15:30~16:30
会場 伊吹葦草の里文化センター ホワイエ
料金 観覧無料

日本画家 西川礼華が伊吹の民話をテーマに、二曲一雙屏風(2m×4m)に絵を描き、滋賀県立伊吹高等学校書道部「墨人」が書を添える共同制作を行います。

日本画家 西川礼華 NISHIKAWA Ayaka



1988年滋賀県生まれ。2013年京都市立芸術大学美術研究科修士課程日本画専攻修了。植物や自然現象、遺物が放つ美しさを融合させた絵画の世界を構築。2016年にはその活動が一層期待されるとして「滋賀県次世代文化賞」を受賞。2020年第一回千住博日本画大賞展入選(銀座三越伊勢丹/東京)。県内外で精力的に個展・グループ展を展開している。



【プレコンサート・プログラム】 2024年9月8日(日) 14:00開演

第一部 バロック
J.バッハ
「カンノン」
J.S.バッハ
「ああ、なんて美味しいの、コーヒーは!」
「そっと黙って、お喋りなさるな(コーヒーカンタータ)」BWV 211より
C.P.E.バッハ
ハンブルガー・ソナタ 長調 Wotq133 ほか

第二部 民話
イサダになった娘 作曲:山下祐加
余呉の羽衣伝説 作曲:首藤健太郎



鈴木麻琴 ソプラノ SUZUKI Makoto

大津市出身。京都市立芸術大学音楽学部 声楽専攻卒業。第17回滋賀県新人演奏会出演。第6回豊中音楽コンクール第2位。2022年度平和堂財団芸術奨励賞(音楽部門)受賞。オペラ・オペレッタでは「アマルと夜の訪問者」アマル、「コジファン・トゥッテ」デスピーナ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「メリー・ウイドウ」ロロ、「こうもり」アデーレで出演。これまでに、大谷由美子、折江忠道の各氏に師事。現在、三井ツヤ子、中嶋俊晴の各氏に師事。一般社団法人日本シューベルト協会会員。演奏グループ「toi to! toi」メンバー。α Musica音楽総合教室 声楽・ボーカル講師。



小林千晶 フルート KOBAYASHI Chiaki

滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部卒業。卒業後フランス・パリ・エコールノルマル音楽院にて高等課程ディプロマを取得。びわ湖芸術文化財団より滋賀県芸術文化奨励賞を受賞。第21回滋賀県新人演奏会にて優秀賞を受賞。第1回東京国際フルートオーディションにて山野楽器特別賞ならびに坂上領特別賞を受賞。これまでにフルートを森川真衣、竹林秀憲、富久田治彦、大嶋義実、トーマ・プレヴォ、クロード・ルフェールの各氏、ピッコロをビエール・モンティ氏、室内楽を安藤史子、上田希の各氏に師事。現在関西を中心にフリーランスとして活動中。



榎山さやか ピアノ MOMIYAMA Sayaka

彦根市出身。京都市立芸術大学音楽学部卒業。第16回万里の長城杯国際音楽コンクールピアノ部門大学の部第2位。第17回滋賀県新人演奏会優秀賞受賞。第2回寝屋川市アルカスピアノコンクールデュオ1台4手部門グランプリ受賞。これまでに船橋美穂、野原みどりの各氏に師事。現在、演奏活動をしながら滋賀県にて後進の指導にあたる。滋賀県立石山高等学校音楽科非常勤講師。滋賀県立日野高等学校音楽部活動指導員。

近江には 伝説がある

揮毫 滋賀県立伊吹高等学校
書道部「墨人」

本公演 伊吹山と神の息吹 2024年10月27日(日) 14:00開演

【プログラム】

第一部 バロック
J.S.バッハ
「主よ人の望みの喜びよ」
『心と口と行いと生活で』BWV147
(Herz und Mund und Tat und Leben)より

G.テレマン
トリオ・ソナタ ハ長調 TWV42:C1 「忠実な音楽の師」より
(Der getreue Music-Meister: Trio in C Major) ほか

第二部 民話

新作初演
伊吹弥三郎 作曲:首藤健太郎
狐にもらった財布 作曲:首藤健太郎
作詞:滋賀文学会 作詞部門 ほか

語り:源雅子(米原市在住) ソプラノ:鈴木麻琴



作曲家 首藤健太郎
SHUTO Kentaro

作編曲を中心に活動する音楽家。委嘱による合唱作品は多く、東京混声合唱団とのプロジェクトや『合唱祭はこの一冊で!キラキラ星で世界旅行!』、『ありがとう』等、カワイ出版やパナムシカ等で作品が出版されている。近年は、パソコン1台で自宅完結型のDTMによるBGM製作に注力している。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院修士課程音楽研究科作曲専攻修了。Jリーグスシンガーズのメインコンポーザーを務める。2017年度合唱組曲作品公募-第28回朝日作曲賞- 朝日賞受賞 など

チケット、プレイガイドは裏面へ▶

Les Baroquennes レ・バロクェンヌ

京都市交響楽団の首席クラス奏者を中心に、フルート・オーボエ・コントラバス・チェンバロという他に類を見ない編成で、2016年より京都を拠点に活動し好評を博している。ユニット名は「バロック音楽を愛する女性たち」の意。



中川佳子 フルート
NAKAGAWA Yoshiko

1990年東京藝術大学入学。1992年第3回日本木管コンクール優勝。1993年安宅賞受賞。1994年同大学管打楽器最優秀成績を修め卒業後渡仏。数々のオーケストラとソリストとして協演するほか、師である佐久間由美子氏との共演はサンキョウフルート40周年ガラコンサートをはじめ絶賛を博している。アジアフルート連盟理事、京都市交響楽団副首席奏者。



高山郁子 オーボエ
TAKAYAMA Ikuko

大阪音楽大学卒業。卒業演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院を最優秀で修了。大阪フィルハーモニー交響楽団を経て、2003年10月京都市交響楽団入団。2005年11月より首席奏者。大阪音楽大学、同志社女子大学非常勤講師。オーボエファイブメンバー。



石丸美佳 コントラバス
ISHIMARU Mika

12歳よりコントラバスを始める。京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。ベルリンに留学後、京都市交響楽団に入団。2012年より副首席奏者。エビビールが大好き♡



井幡万友美 チェンバロ
IBATA Mayumi

同志社女子大学学芸学部音楽学科卒業後、国際ロータリー財団奨学金及びUGS奨学金を受け、米国オハイオ州立シンシナティ大学音楽学部大学院コースに留学。1994年アーティストディプロマを取得。2012年ACUSTICARecords(ドイツ)より「J.S.Bach」をリリース。第13回大阪国際音楽コンクール古楽部門第1位及び特別賞。京都女子大学、大阪音楽大学講師。フランスシター奏者としても活動中。

主催 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀、公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団
後援 滋賀県教育委員会、彦根市、彦根市教育委員会、長浜市、長浜市教育委員会、米原市、米原市教育委員会、e-radioエフエム滋賀
協力 滋賀県立伊吹高等学校 書道部「墨人」、滋賀文学会 作詞部門
第54回滋賀県芸術文化祭参加事業



びわ湖・アーティスト・みんぐる

「みんぐる」(mingle)とは交じり合うという意味で、さまざまな地域に出かけ、芸術(アート)を通して知と感性を刺激し合うような出会いや交流を生み出すことを狙いとするアートプロジェクトで、2021年から取り組んでいます。多彩な表現者に参加いただき、彼ら彼女たちが県内各地に根付いてきた文化や魅力的な出来事と邂逅する中で自らの芸術を追求し、滋賀の文化芸術に新しい風を吹き込むことで、次世代にも魅力ある地域づくりに寄与することを目的としています。

ホームページ <https://biwako-mingle.art/>